

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：栗原、2組：中村、3組：中村、4組：中村、5組：栗原、6組：大里、7組：大里、8組：大里）

使用教科書：（BLUE MARBLE English CommunicationⅠ）

教科 外国語

- 【知識及び技能】の目標：
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、相手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
英語文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を理解したり、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを読み取り、理解したり、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話したり書いたりすることができ、社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手のいなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる。	英語の特性やきまりの理解を深め、その知識を目的や場面、状況に応じて相手に配慮しながら、適切に活用したり、表現したり伝えあったりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	Friendships in the Digital Age 【知識及び技能】SV / SVC / SVO / SVOC / SVOC / There is [are]の用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】デジタル時代における友だち作りについて理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】デジタル時代における友だち作りについて自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 5 文型、5 文型の使用事例、There is [are] ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】SV / SVC / SVO / SVOC / There is [are]の用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】デジタル時代における友だち作りについて理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】デジタル時代における友だち作りについて自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	8
	B 単元 【知識及び技能】現在[過去]完了形・完了進行形の用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】万博における日本の関わりと、未来の万博の役割について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】万博における日本の関わりと、未来の万博の役割について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 動詞の形Ⅰ（時制）文のアクセント・イントネーション ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】現在[過去]完了形・完了進行形の用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】万博における日本の関わりと、未来の万博の役割について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】万博における日本の関わりと、未来の万博の役割について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】used to do / could / 助動詞を含む受動態 (can be done / will be done) 【思考力、判断力、表現力等】1 人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】1 人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 動詞の形Ⅱ（助動詞、態）英語のリズム ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	【知識及び技能】used to do / could / 助動詞を含む受動態 (can be done / will be done) を正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】1 人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】1 人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】使役動詞+0 + do / S + V + 0 + to doの用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 動詞の形Ⅲ（準動詞①）、弱く発音される語（機能語）の変化 ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】使役動詞+0 + do / S + V + 0 + to doの用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	8
2 学 期	定期考査							○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】知覚動詞+ 0 + do / S + V + if ～の用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】ルワンダ大虐殺を生きた1人の女性の物語について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】ルワンダ大虐殺を生きた1人の女性の物語について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 知覚動詞+ 0 + do / S + V + if ～ ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】知覚動詞+ 0 + do / S + V + if ～の用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】ルワンダ大虐殺を生きた1人の女性の物語について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】ルワンダ大虐殺を生きた1人の女性の物語について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	10
	F 単元 【知識及び技能】関係代名詞の継続用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】「測る」進化の歴史について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】「測る」進化の歴史について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 英語の語順Ⅲ（関係代名詞）アクセントの基本ルール②（名[形]前動後） ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ	○	○	○	○	【知識及び技能】関係代名詞の継続用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】「測る」進化の歴史について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】「測る」進化の歴史について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	10
	G 単元 【知識及び技能】関係副詞 (when / where / why / how) の継続用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 英語の語順Ⅳ（関係副詞）音の連結（リエゾン） ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】関係副詞 (when / where / why / how) の継続用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	10
3 学 期	H 単元 【知識及び技能】仮定法過去 / 仮定法過去完了 / I wish ～ / as if ～の継続用法を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】「オーバーツーリズム」とその解決策について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】「オーバーツーリズム」とその解決策について自分なりに意見を持ち、積極的に発信する。	・指導事項 動詞の形Ⅳ（仮定法）音の脱落（リダクション） ・教材 教科書 BLUE MARBLE EnglishCommunicationⅠ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】仮定法過去 / 仮定法過去完了 / I wish ～ / as if ～の継続用法を理解し正しく使っている。 【思考力、判断力、表現力等】「オーバーツーリズム」とその解決策について理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】「オーバーツーリズム」とその解決策について自分なりに意見を持ち、積極的に発信している。	○	○	○	合計 64